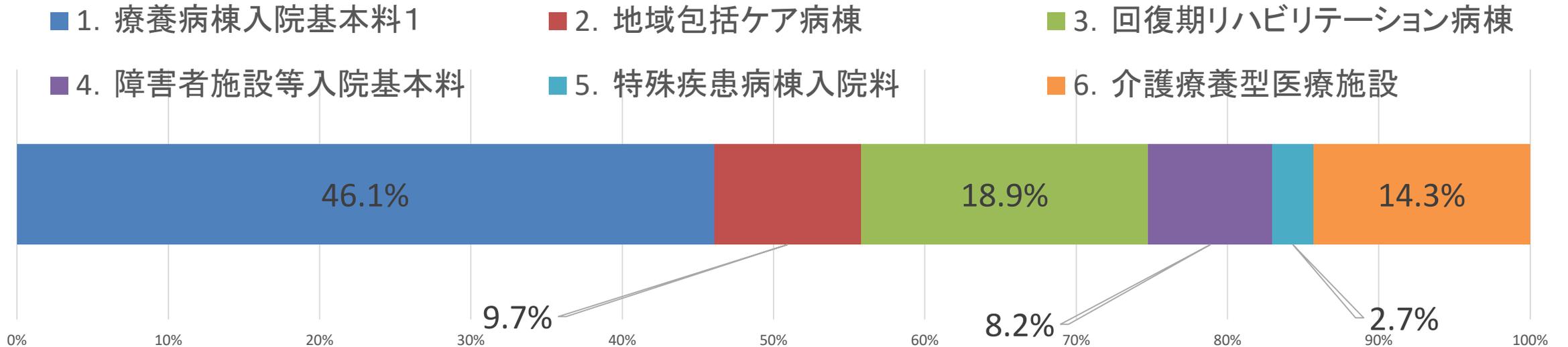


回答病床数 (n = 19,677)

	病床数	比率(%)
1. 療養病棟入院基本料1	9,063	46.1%
2. 地域包括ケア病棟	1,918	9.7%
3. 回復期リハビリテーション病棟	3,728	18.9%
4. 障害者施設等入院基本料	1,616	8.2%
5. 特殊疾患病棟入院料	534	2.7%
6. 介護療養型医療施設	2,818	14.3%



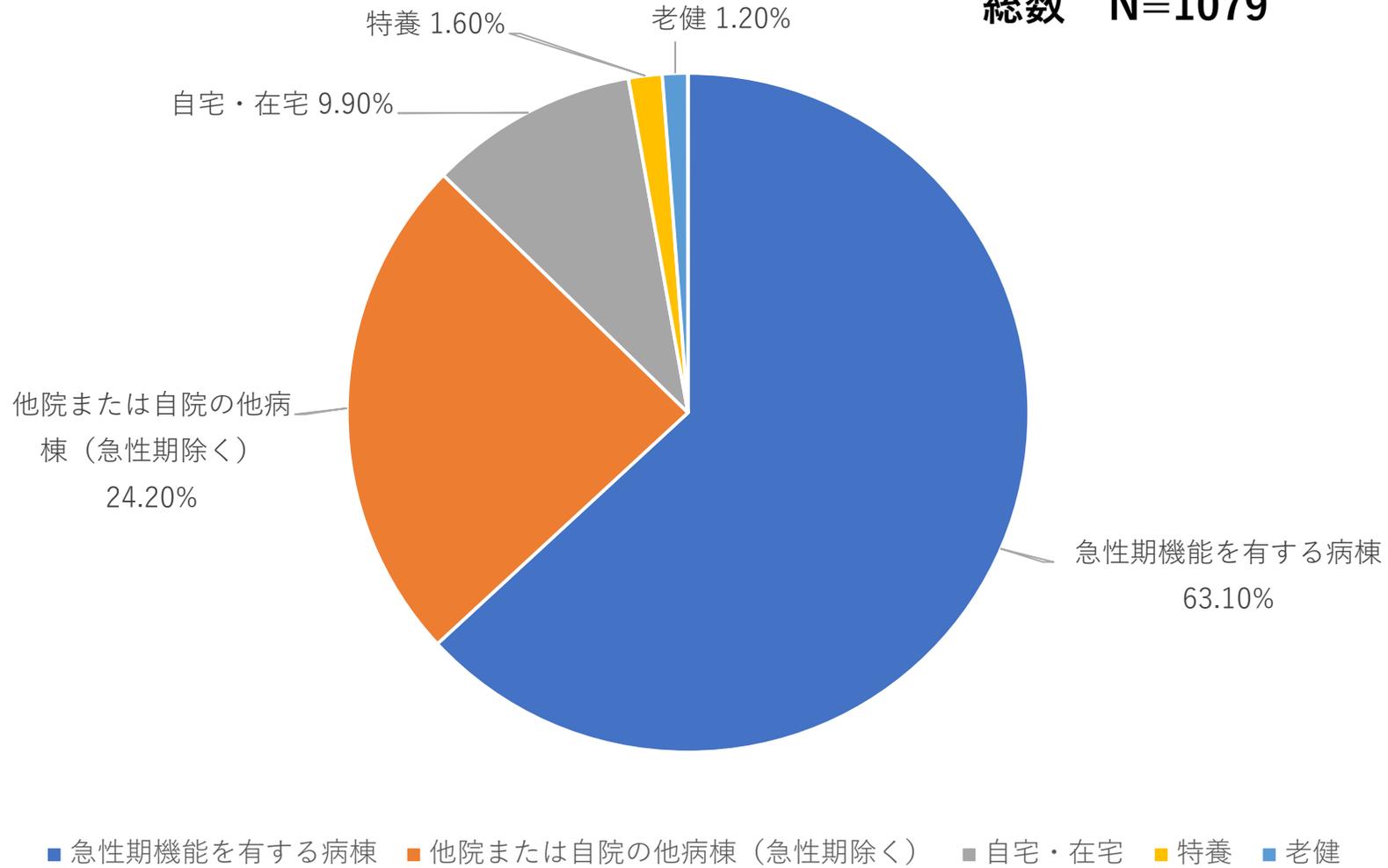
令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、回答病棟に新規入院（院内転棟含）した患者について （n = 10,198）

	対象期間に新規入院した患者数	貴病棟に入院後バルーンを挿入した患者		持ち込みバルーン挿入患者数		入院当日にバルーンを抜去した患者数		入院翌日以降に抜去した患者数		バルーン挿入継続中の患者数(抜去不可)。挿入したまま退院した患者を含む * 11月30日現在	
		患者数	%	患者数	%	患者数	%	患者数	%	患者数	%
他院または自院の他病棟からの入院総数	7,347	278	3.8	942	12.8	23	2.4	249	26.4	670	71.1
上記のうち急性期機能を有する病棟からの入院	4,874	143	2.9	681	14.0	18	2.6	183	26.9	480	70.5
老健からの入院	193	22	11.4	13	6.7	0	0.0	3	23.1	10	76.9
特養からの入院	228	22	9.6	17	7.5	0	0.0	5	29.4	12	70.6
自宅・居住系施設からの入院	2,430	140	5.8	107	4.4	1	0.9	15	14.0	91	85.0

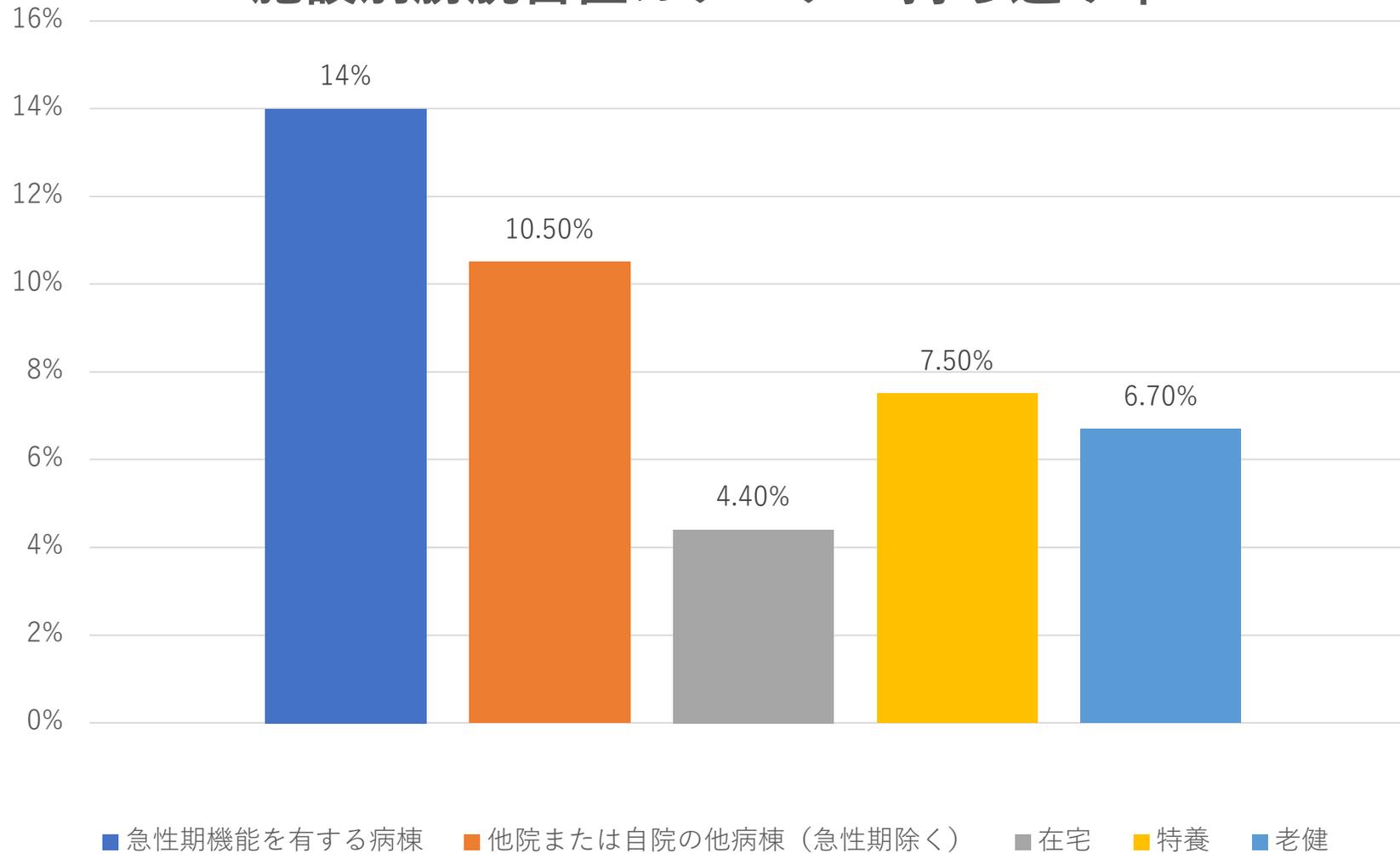
(注)本調査における急性期機能を有する病棟とは、急性期一般病棟入院料を算定する病棟、特定機能病院において急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟、救命救急病棟、集中治療室等を指します。

膀胱留置カテーテル持ち込み数

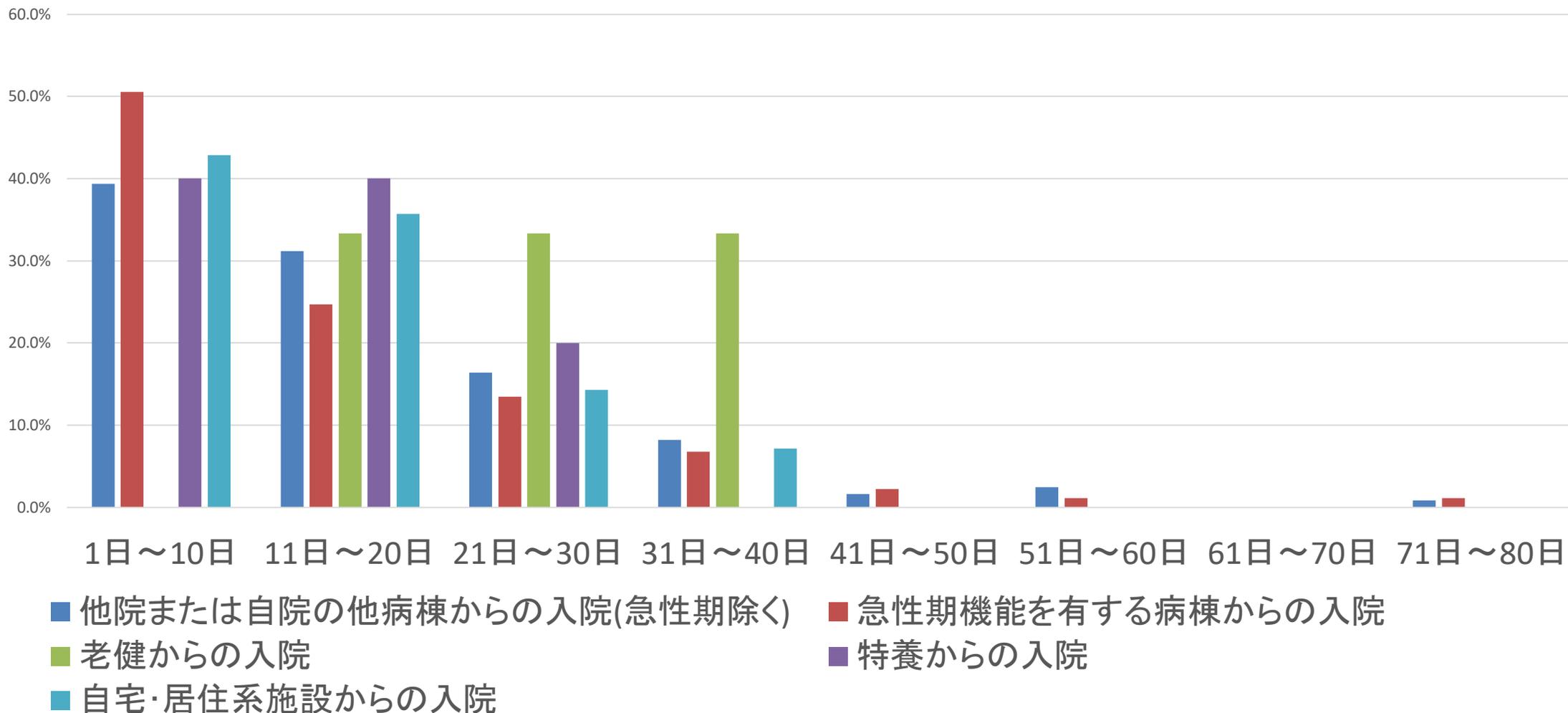
総数 N=1079



施設別膀胱留置カテーテル持ち込み率



令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、回答病棟に新規入院（院内転棟含）した持ち込みバルーン挿入患者について 入院してからバルーン抜去までにかかった平均日数（比率（%））（n = 233）



令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、回答病棟に新規入院（院内転棟含）した持ち込みバルーン挿入患者について、回答病棟に入院後にバルーン抜去に至った患者の抜去後の排泄手段とその後の排泄訓練状況（n=232）

	患者数	比率 (%)
1.抜去後、排泄訓練を実施せずとも、自分でトイレへ。	39	16.8
2.抜去後、排泄訓練を実施し、オムツが外れ、自分でトイレへ。	36	15.5
3.抜去後、排泄訓練を実施したが、オムツのまま介助を受けている。	44	19.0
4.抜去後、排泄訓練を実施しておらず、オムツのまま介助を受けている。	96	41.4
5.その他	17	7.3

令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、他院または自院の他病棟（急性期含む）からバルーン挿入の状態入院し、入院中に**バルーン抜去に至った患者**について、入院時と、退院時または11月30日時点の平均FIMの点数（FIM総合）（n = 99）

	入院時平均		退院時平均		入院継続中平均	
	病棟数	比率(%)	病棟数	比率(%)	病棟数	比率(%)
1点～10点	2	2.0	0	0.0	1	1.3
11点～20点	21	21.2	4	9.3	19	25.0
21点～30点	19	19.2	5	11.6	18	23.7
31点～40点	20	20.2	5	11.6	8	10.5
41点～50点	14	14.1	6	14.0	7	9.2
51点～60点	9	9.1	3	7.0	6	7.9
61点～70点	7	7.1	2	4.7	4	5.3
71点～80点	6	6.1	5	11.6	4	5.3
81点～90点	0	0.0	0	0.0	4	5.3
91点～100点	0	0.0	1	2.3	2	2.6
101点～110点	1	1.0	2	4.7	1	1.3
111点～120点	0	0.0	8	18.6	2	2.6
121点～130点	0	0.0	2	4.7	0	0.0
	99	100.0	43	100.0	76	100.0

令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、他院または自院の他病棟（急性期含む）からバルーン挿入の状態での入院し、**バルーン挿入継続中（抜去が困難）**の患者について、入院時と退院時または11月30日時点の平均FIMの点数（FIM総合）（n = 149）

	入院時平均		退院時平均		入院継続中平均	
	病棟数	比率(%)	病棟数	比率(%)	病棟数	比率(%)
1点～10点	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11点～20点	34	22.8	33	40.2	26	23.9
21点～30点	55	36.9	18	22.0	38	34.9
31点～40点	33	22.1	12	14.6	22	20.2
41点～50点	17	11.4	4	4.9	11	10.1
51点～60点	7	4.7	7	8.5	5	4.6
61点～70点	0	0.0	4	4.9	3	2.8
71点～80点	2	1.3	0	0.0	1	0.9
81点～90点	0	0.0	1	1.2	0	0.0
91点～100点	1	0.7	1	1.2	1	0.9
101点～110点	0	0.0	2	2.4	2	1.8
	149	100.0	82	100.0	109	100.0

令和元年9月1日～10月31日の2ヶ月間に、他院または自院の他病棟（急性期含む）からバルーン挿入の状態での入院し、入院中にバルーン抜去に至った退院患者およびバルーン挿入継続中（抜去が困難）の退院患者のそれぞれの平均入院日数（比率％）

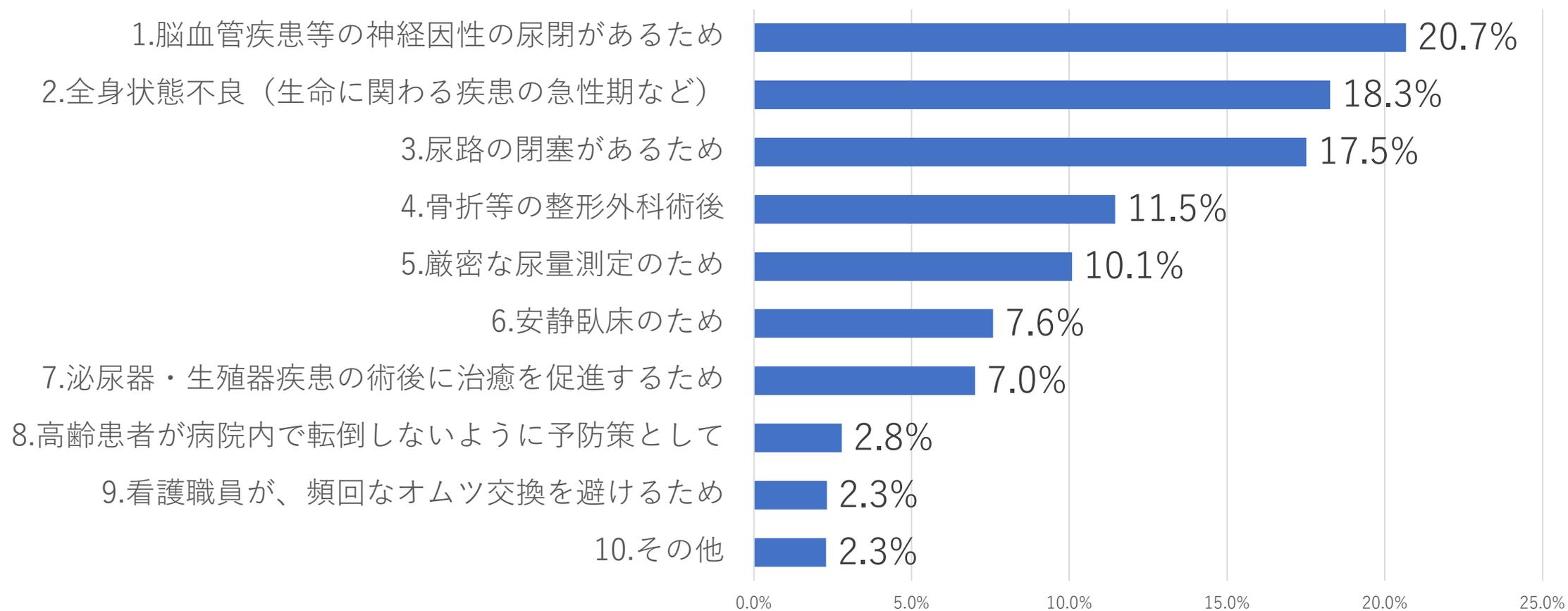
抜去後退院（n = 39）

	病棟数	比率（％）
1日-10日	1	2.6
11日-20日	1	2.6
21日-30日	7	17.9
31日-40日	6	15.4
41日-50日	9	23.1
51日-60日	12	30.8
61日-70日	0	0.0
71日-80日	2	5.1
81日-90日	1	2.6

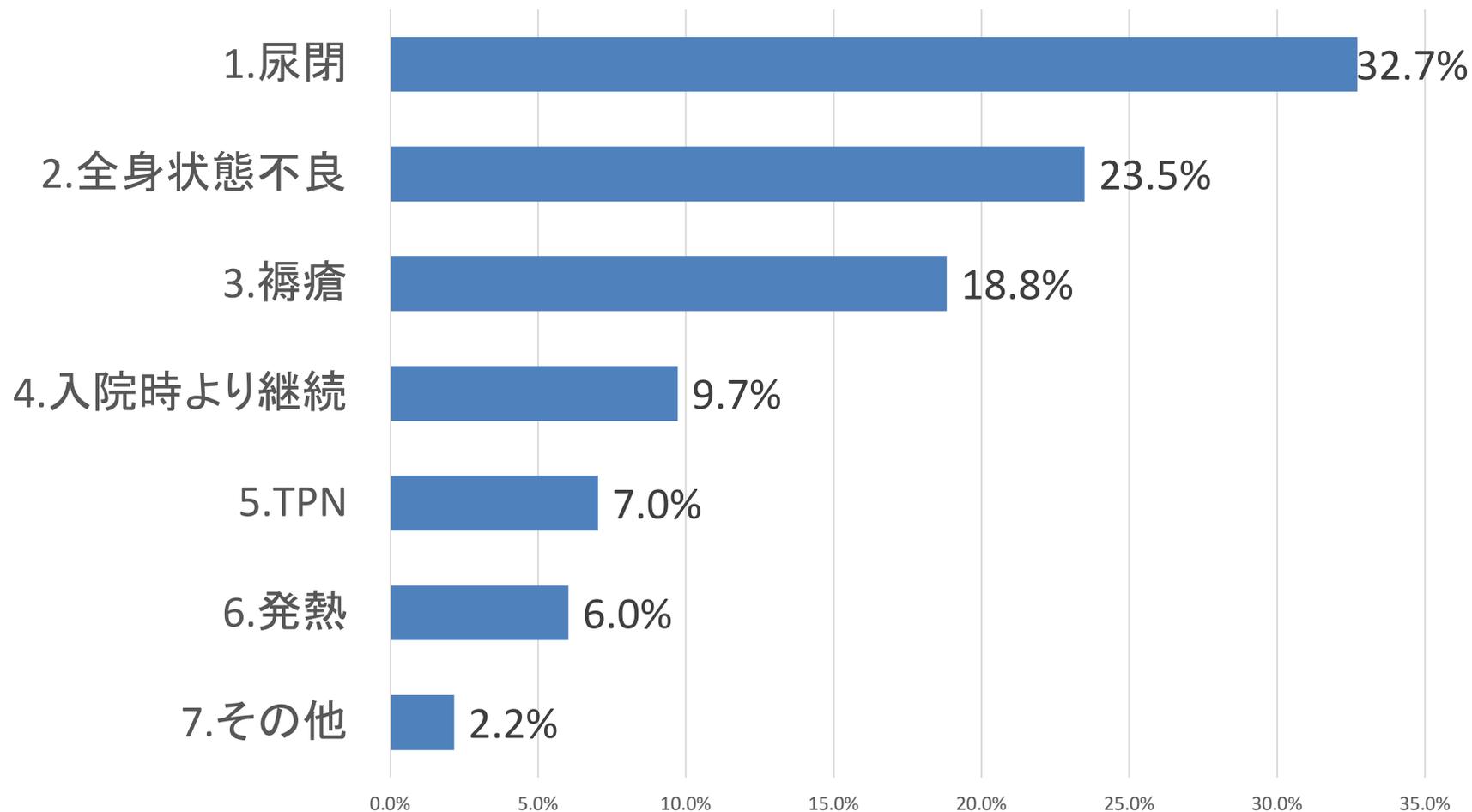
挿入継続退院（n = 75）

	病棟数	比率（％）
1日-10日	8	10.7
11日-20日	14	18.7
21日-30日	15	20.0
31日-40日	15	20.0
41日-50日	8	10.7
51日-60日	7	9.3
61日-70日	4	5.3
71日-80日	2	2.7
81日-90日	2	2.7

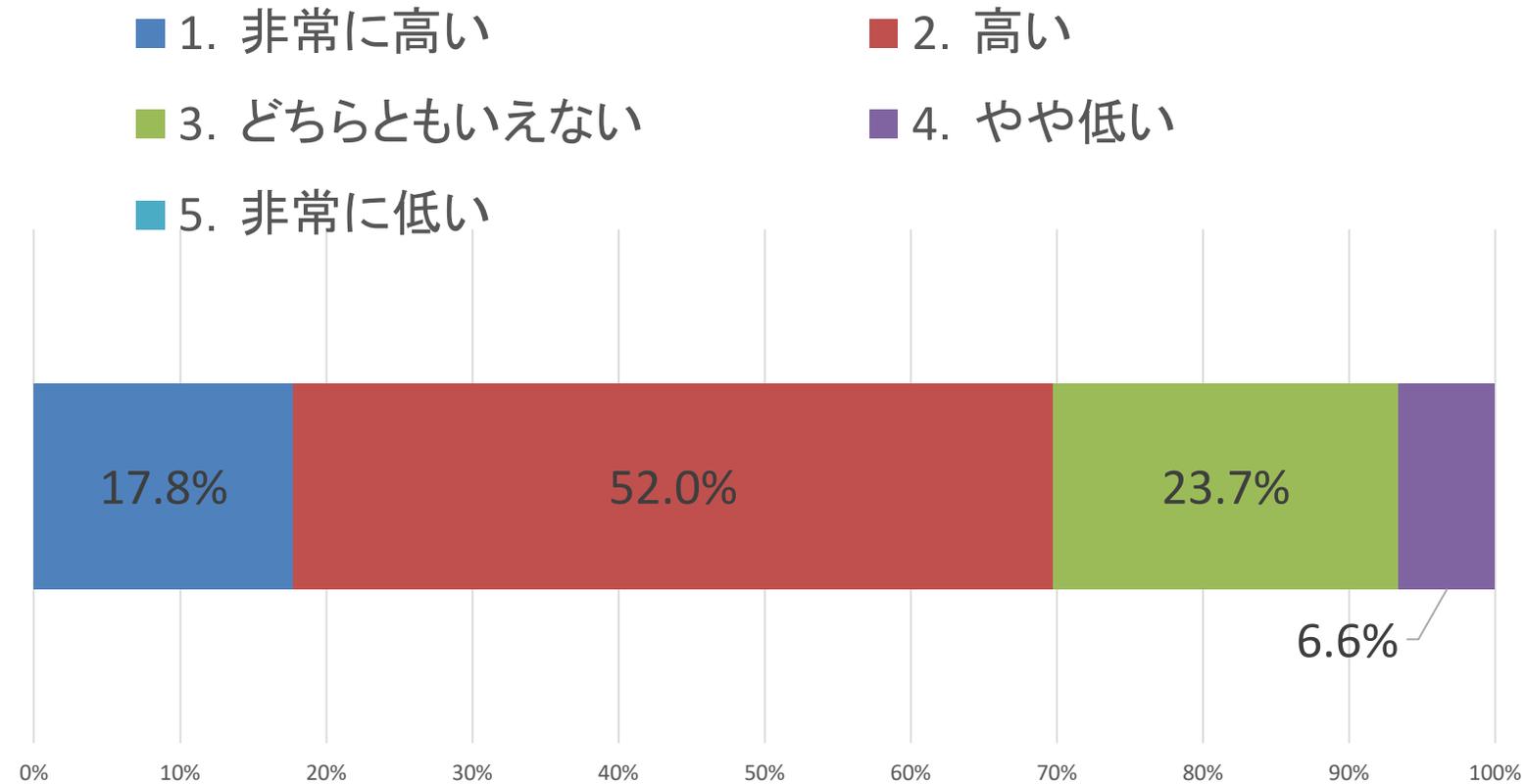
持ち込みバルーン挿入患者の急性期機能を有する病棟での膀胱カテーテル留置の理由（多いと思われる理由を多い順に回答。複数回答可）（n = 153）



バルーン挿入継続中の患者について、抜去が困難である理由（抜去困難な理由を多い順に回答。複数回答可）（n=152）



職員のバルーン抜去への意識の高さ (n = 152)



職員のバルーン抜去への意識の高さで「どちらともいえない」、「やや低い」、「非常に低い」のいずれかを回答した理由（複数選択可）（n=46）

